

## 2021年度「アメリカで沖縄の未来を考える」(TOFU)プログラム

### 東京派遣プログラム 募集要項

#### I. 派遣事業概要

##### ■概要

外務省では、2018年から、対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト(KAKEHASHI Project)」の一環として、「アメリカで沖縄の未来を考える」(TOFU: Think of Okinawa's Future in the U.S)プログラムを実施しています。

同プログラムは、沖縄の将来を担う高校生・大学生を米国に派遣し、関係者との意見交換や各種視察等を通じ、語学としての英語力向上を図るとともに、英語を用いて様々な分野について学ぶ教育機会を提供することを目的としています。また、本事業を通じ、日本と米国との間で、将来を担う人材を派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘・育成し、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者から積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を強化するものです。

2020年3月には第3回TOFUプログラムを実施予定でしたが、新型コロナの影響で中止となったため、2021年3月に東京派遣プログラムを実施いたしました。本年度についても米国渡航を追求してきましたが、引き続き新型コロナによる状況が不透明であることを踏まえ、前年度に引き続き、2022年3月に東京派遣プログラムとして実施することといたしました。

参加者は4泊5日の日程で東京を訪問し、日米関係に携わる実務者及び国内外で活躍している日本人(沖縄県出身者含む)との意見交換や各種視察、米国とのオンライン交流等を通じ、日米同盟や国際社会における日本の役割を考える機会に触れる予定です。

なお、参加者の安全を確保するため、新型コロナの感染状況によっては、直前でプログラムを中止又は内容を変更する場合がございますので、予めご承知おきください。

##### ■派遣期間

2022年3月21日(月・祝日)～25日(金) (予定)

※ 参加者の自己都合によるキャンセルにより、費用負担が発生した場合、発生した費用については、参加者ご自身に負担いただきます。

##### ■派遣地

東京及びその近郊

##### ■対象者・人数

参加者: 日本の外交姿勢や日本と国際社会との関係、日米関係等に関心のある高校生・大学生  
派遣人数: 合計 20名

## ■実施体制

外務省及び同省が委託する企業による実施。

## II. プログラム

### ■主なプログラム内容(予定)

- (1) オリエンテーション
- (2) 外務省政務との意見交換
- (3) 在京米国大使館員との意見交換
- (4) 国際機関職員との意見交換
- (5) 米国人学生とのオンライン交流
- (6) 各種視察(都内及び近郊)
- (7) グループワーク、報告会(事前に割り振られるテーマに沿って班ごとに発表)

※ プログラムのイメージとして、別紙1の前回概要をご参照ください。

※ 新型コロナの影響等によりプログラム内容は変更される可能性があります。

※ 全てグループ行動となり、自由行動の時間は基本的にはございません。

※ 語学研修を主目的とするプログラムではありません。

### ■事前準備・プログラム中の活動・事後活動

#### (1)事前準備

- 1) 2022年2月又は3月に実施する事前説明会への参加、日米関係や日本の外交政策に関する事前学習、プログラム内の意見交換・報告会等に向けた準備

※ 事前説明会は、沖縄県内又はオンラインでの実施を予定しています。

#### (2)プログラム中の活動

- 1) 意見交換等に積極的に参加し、議論に貢献
- 2) 参加者間のグループワークと報告会での発表

#### (3)事後活動

- 1) 事後アンケートの提出

※ その他、応募書類を提出した市町村関係者への報告や高校・大学等での報告会の実施が推奨されます。

※ 加えて、過去のTOFUプログラム参加者で構成する同窓会組織の活動にも参加いただければ幸いです。

## III. 参加申し込み

### ■参加条件 本事業の趣旨を理解した上で参加できる者を対象とします。

- (1) 派遣時に高校生・大学生及びそれに準ずる教育機関に在学している者であること(年齢 25 歳以下)
- (2) 心身ともに健康であること<sup>※1</sup>
- (3) 日本国籍を有する者、または日本に居住し日本の永住権を有する者<sup>※2</sup>
- (4) 沖縄県出身で今回募集の対象市町村に居住する者又は今回募集の対象市町村出身で沖縄県内に居住する者

- (5) 本事業の趣旨・目的を理解し、意見交換や各種視察に積極的に参加し、議論に貢献する意欲を有すること
- (6) プログラム前に積極的に事前説明会への参加や事前学習に取り組み、また、プログラム終了後にできる限りプログラムの成果を生かした報告会等の活動を行うこと
- (7) 規律ある団体行動ができること、プログラム参加上のルール(自由行動不可、無断外出禁止等)に従うことができること
- (8) 基本的な意見交換ができる程度以上の英語力を有すること<sup>※3</sup>  
  - 【英語力目安】 高校生:英検準2級、TOEIC400 点以上
  - 大学生:英検2級、TOEIC500 点以上
- (9) 「本プログラム参加における責任範囲」に同意すること
- (10) 参加決定後、別途依頼する個人情報利用に関する同意書等の書類を提出すること

※1 本プログラムは集団行動であり、また多忙なプログラムスケジュールにも耐えうる体力・精神力が必要となるため、既往症又は慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は原則として参加は認められません。

※2 永住者及び特別永住者(日本居住者)については、エントリーフォームと一緒に証明書(両面)のコピーを提出してください。

※3 語学力(英語力)の証明として、合格証書・認定証書(写し)をご提出ください。また、受験経験はないが既に英語力を有しており、日常的に使用している、ESS クラブに所属している等の場合は、教員等からの語学力に関する推薦書の添付も可といたします。

#### ■プログラム費用

- (1) 本事業負担: 那覇空港から東京までの往復航空賃、プログラム中の食費・宿泊費・交通費、旅行傷害保険料、復路のPCR 検査代
- (2) 参加者負担: 自宅从那覇空港までの往復交通費、フライト時間により那覇空港付近で前泊/後泊が必要となる場合の宿泊費、超過荷物輸送料(航空機)、ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費(インターネット(有料の場合)、電話、ミニバー、クリーニング等)、私的な買い物の費用、本事業で費用負担する旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料等、参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用、その他本事業負担に含まれない費用

#### ■応募方法

下記書類を、募集自治体へご提出ください。

- (1) エントリーフォーム(別紙2)
- (2) 語学力を証明する資料(写し)
  - ※ エントリーフォームは、A4・両面印刷の上記入し、ご提出ください。
  - ※ 必ず定期的に確認するメールアドレスを明記ください。

## ■選考結果通知

外務省にて派遣学生を選抜し、結果を各募集自治体にお知らせします。同結果に基づいて各自治体より応募学生に連絡いたします。

なお、御提出いただきました応募書類は、返却いたしません。

※ 応募書類の内容について、詳細をお電話にてお伺いする場合があります。

※ 合否判定に係る個別のお問合せには、お答えできません。

(今後の予定)

2022年1月中 書類審査実施、選考結果ご連絡

2022年2月中旬以降 沖縄県内での参加者説明会実施

## IV. 本プログラム参加における責任範囲

- (1) 新型コロナウイルスの感染状況等やむを得ない事由により、旅程や宿泊先が変更される場合があります。
- (2) 東京派遣中、派遣団の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消す場合があります。参加取消しによって生ずる費用は、当該者に請求する場合があります。
- (3) 特段の事情が無い限り、参加者自己都合による滞在期間の延長又は途中離脱は原則として認めませんが、それにより個人の費用負担が発生した場合や、第三者(航空会社、ホテル等宿泊施設及びレストランを含む)のいかなる行動や過失、参加者に対する損害及び所持品に対して、一切の責任を負いません。
- (4) プログラムは、新型コロナウイルスの感染状況等を確認・判断の上実施いたしますが、参加者御自身が安全管理面に問題ないと判断し、本プログラムに参加していただくこととしておりますので、安全管理の責任は第一義的には参加者御自身にあると考えております。万が一、保護者や関係者が上京する等の対応が必要となった場合については、参加者の御家族や関係者をお願いいたします。なお、参加者にはプログラム参加前の各自での健康観察(毎日の検温等)や、プログラム終了後、羽田空港又は那覇空港でのPCR検査の受検(本事業負担)を行っていただく予定です。
- (5) 本プログラムへ学生が参加されるに当たり、授業を休む場合の扱いについては、所属先の学校に御相談願います。

別紙1 【参考】前年度の東京派遣プログラムの概要(2021年3月実施)

別紙2 エントリーフォーム